STOP 条例化「1年単位の変形労働時間制」導入を許さない緊急オンライン意思統一集会

9月議会に向けての行動提起

都道府県・政令市において「1年単位の変形労働時間制」導入のための条例制定をさせないとりくみと学校に導入させないとりくみに全力をあげます。

具体的なとりくみとして、以下の3点を呼びかけます。

1. 学校現場の実態を明らかにし、都道府県教育委員会と都道府県議会に対して条例化を許さないとりくみを強めます。

(1) 交渉

都道府県教育委員会に対して、公立学校への「1年単位の変形労働時間制」の導入については、 交渉事項であることを確認し、交渉に臨みます。学校現場の実態と制度の問題点とを明らかにし ながら、「1年単位の変形労働時間制」のための条例を制定せず、学校に導入しないよう求めます。

(2) 市区町村議会に意見書採択をもとめる

政令市以外の市区町村議会に、「1年単位の変形労働時間制」のための条例に反対する意見書採択を求める請願・陳情にとりくみます。

(3) 都道府県議会への請願署名

都道府県・政令市議会に対して「1年単位の変形労働時間制」導入のための条例を制定しないことを求める請願署名にとりくみます。

2. 職場からのとりくみを強めます。

(1) 職場の実態と教職員の要求を明らかにしよう

「学校再開後の教職員の働き方実態調査」のとりくみを広げ、学校現場の実態と教職員の要求を明らかにし、制度導入の余地がないことを鮮明にします。アンケートは紙ベースおよび Web 上での回答が可能です。第1次集約を8月21日(金)、最終集約8月31日(月)とします。

(2) 学習をすすめよう

各職場で全教 HP の動画資料、7月17日付談話を活用するなどして、「1年単位の変形労働時間制」の問題点を明らかにして、学校現場の実態から導入の余地がないことを確認します。

(3) 校長への要求

学校長に対して、制度導入の是非に関する各学校の「意向」の決定は、全教職員による民主的な話し合いにもとづいておこなうよう要求します。

3.「#めざせ20人学級」プロジェクト、「せんせいふやそう」キャンペーンと結んで、

えがお署名・教育全国署名のとりくみを大きく前進させます。

・「#めざせ 20 人学級」プロジェクト、「せんせいふやそう」キャンペーンと結んで、えがお署名、教育全国署名、また教育研究者がよびかけているインターネット署名に旺盛にとりくみ、少人数学級の実現と教職員定数の改善によって、ゆきとどいた教育を実現し、教職員の長時間過密労働を解消します。